

補助事業の広報資料

補助事業者番号 23-1-079
補助事業名 平成 23 年度 健康や命を守る補助事業
補助事業者名 財団法人日本精神衛生会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

精神保健思想の啓発普及に資するため、広報誌の発行、フォーラムを開催し精神保健に対する国民の関心と理解を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

ア 広報誌の発行

心と社会

精神保健に関する重要課題の現状分析と提言を内容として発行する広報誌「心と社会」を 2 回、各 600 部を追加で発行し福祉関連施設などに無料で配布し精神保健思想の啓発普及を図った。

145 号 平成 23 年 9 月発行 A5 判 120 ページ

特集 震災に伴う心のケア

146 号 平成 23 年 12 月発行 A5 判 144 ページ

特集 大人の発達障害～自分らしく生きるには～

イ 精神保健フォーラムの開催

「つながり合い、ささえ合い！～子どもたちは、今～」



精神保健関係者、教育関係者、保健士や福祉関係者、一般市民とともに現代の子どもの問題を、教師や親の問題も含めて語り合い、対応を考えるフォーラムを入場無料で開催した。

開催日 平成 24 年 3 月 3 日

会 場 有楽町朝日ホール

テーマ つながり合い、ささえ合い！～子どもたちは、今～

参加者 230 名

2. 予想される事業実施効果

ア 広報誌の発行

精神保健に関する情報を全国の精神保健福祉関係者や一般市民に広報することで、患者や国民のこころの健康維持・改善、そして当事者やその家族へ支援の輪が広がることが予想される。145号では特集を「災害に伴う心のケア」とし、東日本大震災の被災地で支援活動をした精神科医、心理士、保健師、看護師など多職種の精神保健関係者がその実体験を記し、今後の被災地でのこころの支援活動に大いに役立つものと予想される。

イ 精神保健フォーラムの開催

現代の子どもが抱える様々の問題について、その成育現場である家庭や学校の問題も含めて教師や精神科医、保健士などの専門家が討議した。非行、薬物依存、自傷行為、虐待など、問題点は多いが、つながり方、自己表現が苦手な子どもが発するサインを見逃さずに対応し、家庭や学校だけでなく地域も含めた社会全体で支える必要性が指摘された。聴衆は教師やスクールカウンセラー、臨床心理士、学生など実際に子どもと関わっている人が多く、今後子どもの悩み解決や指導、コミュニケーションの改善、保健所などの一層の活用が促進されることが期待できる。

3. 本事業により作成した印刷物

ア 広報誌の発行

「心と社会」145号 A5判 120頁 600部

「心と社会」146号 A5判 144頁 600部

イ 精神保健フォーラムの開催

ポスター B3判カラー 300枚

リーフレット A4 判両面印刷三つ折り 10000 部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益財団法人 日本精神衛生会

住 所 : 162-0851

東京都新宿区弁天町 91 番地

代 表 者 : 代表理事 廣瀬 徹也 (だいひょうりじ ひろせてつや)

担当部署 : 事務局 (じむきょく)

担当者名 : 事務局長 伊藤 龍彦 (じむきょくちょう いとうたつひこ)

電話番号 : 03-3269-6932

F A X ; 03-3269-6932

E-mail : z-seisin@dc4.so-net.ne.jp

U R L : <http://www.jamh.gr.jp>